

株式会社ひろせプロダクト

■事業

不良品の自動識別化を行い、高品質・短納期化の実現、海外展開の構築

■対象類型

革新的サービス

新規顧客層への展開、商圏の拡大、独自性・独創性の発揮、顧客満足度の向上、価値や品質の見える化、IT活用、サービス提供プロセスの改善

■導入機械装置

MVM 21799 竹串外観検査装置

□ ものづくり技術 ☒ 革新的サービス日本初最新型の竹串外観検査装置導入
選別コスト圧縮と短納期化を実現竹串や木串製造で国内シェア90%、
販路拡大や新商品開発にも果敢に挑戦

【経営理念】

誠意と誇りを持って仕事に取り組む

アメリカンドッグやフランクフルトに欠かせない竹串や木串の製造で国内シェア90%を誇るひろせプロダクト。平成11年の創業以来、コンビニの普及などもあって着実に業績を伸ばし、平成30年夏には新工場も稼働した。さらには、「創造+独創=次のアイデア」という意識で、業界トップの座に甘んじることなく、高品質・低価格・短納期を武器に海外を含む販路拡大や新商品の開発に果敢に挑戦している。

製品は、アイススティックやアイススプーン、割りばし、焼き鳥串、鉄砲串はもちろん、医師が口内やのどを診る際に舌を押さえる医療器具「舌圧子」、クリームなどを塗るへらのエステ用スパチュラなど多岐にわたる。当初は木製が中心だったが、合併会社のある中国で森林伐採の規制が厳しくなり、竹にシフトしていった。また、製品の安全や衛生面でのニーズが強まってきたことから、ひび割れや欠損などの不良品を選別する独自開発のカメラ画像処理装置を開発して、不良品の削減を進めた。

需要拡大と新事業展開見据え
新工場を建設

さらに高品質化、コスト減などを図ることで他社の追随を許さないため、補助事業を活用して日本初となる最新型の竹串外観検査装置を導入した。従来、見逃されやすかった虫食いの選別に特に威力を発揮し、目視選別から自動選別することで、選別コストが大幅に圧縮され、製品価格に換算して10%以上のダウンが図られた。1時間に5万本の選別が可能ことから納期の短縮にもつながった。

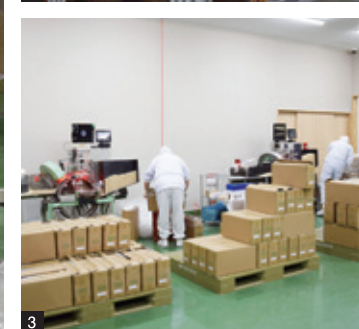
需要の拡大と新たな事業展開を見据え、平成30年夏には約2億円をかけ、2200平方メートルの敷地に約930平方メートルの新工場が完成。加工・検査を中心に稼働させており、本社工場に設置していた外観検査装置などの選別機も集約させた。異物混入阻止など衛生面を徹底させるため工場内の気圧は外より高くし、指紋認証による作業エリアなどへの出入りなど、供給先の国内外の食品製造業者から安全性や衛生面のニーズが年々高まっていることに応えた。



代表取締役社長 鉄本学



- 1 竹串の自動選別装置
- 2 正面と横から竹串を映し出す自動選別機に設置されたモニター
- 3 自社開発の画像処理選別ライン

タイに物流拠点を新設、
米国や欧州も視野に

高品質・低価格を売りに、平成30年冬には日本への供給が多い食品製造工場が集積するタイに物流拠点となる事務所を設けることにしており、同国での販路開拓にも努める。米国や欧州での販路拡大も視野に入れる。国内ではプラスチック製品の公害問題がクローズアップされるなか、11月から順次大手航空会社が国内・国際線ともにコーヒーのマドラーを木製に切り替えることを受け提供を始める予定。アイススティックでの実績を評価したという。さらに、廃材となる削った竹の粉を利用して公園や家庭の庭に敷くブロックの製品化という付加価値を生むことも視野に入れており、中国で軌道に乗れば、設備投資や人件費がかかってもペイできる国内体制の確立を模索し、島根の竹を使ったメイドイン島根の製品が世界に広がる夢を描く。年商は29年の13億4千万円から5年後には20億円を目標に置く。

■Company Data

株式会社ひろせプロダクト



ひろせプロダクト本社

代表者名：鉄本 学
設立年月：平成11年9月
資本金：1,500万円
従業員数：10名
業種：木材・木製品製造業
売上：13億円
住所：〒692-0412 島根県安来市広瀬町下山佐356-3
電話：0854-32-2648
FAX：0854-32-2064
URL：http://www.hiropro.jp/index.html